

授業科目 物理学	担当講師名 三仲 啓	単位数 1単位 時間数 30時間	対象学年 1 年次
学習目標 (ねらい) 1. 人間の環境における自然現象の法則性を学び、看護実践の裏付けとして活用することができる。			
回数	単元	学習内容・方法	
1～2	1. 力の性質	1) 力のベクトルと作用点, 作用・反作用の法則 2) 力の合成・分解, 摩擦力	
3	2. 力のつり合い	1) 力のモーメント(仰臥位から側臥位へ) 2) 物体に働く力のつり合い, 人体のてこ	
4～5	3. 看護への応用例	1) 重心と安定性, 看護ボディメカニクス 2) 斜面とファウラー位	
6～8	4. 圧力	1) 大気圧, 血圧 2) 浮力, サイフォン(胃洗浄) 3) 点滴(流量の調節), 定圧装置(胸腔ドレナージ)	
9～10	5. 運動の法則	1) 仕事と運動エネルギー 2) 位置エネルギーとエネルギー保存則	
11～12	6. 熱	1) 熱と温度, 熱の伝わり方 2) 気体の状態方程式(酸素ボンベ)	
13	8. 音と光	1) 音と聴覚	
評価方法		テキスト・参考書等	
筆記試験 課題レポート		看護学生のための物理学 医学書院	
備考 ・ 看護技術は、物理学を応用していきます。基本を学んで各看護学での、ケア時の安全・安楽と関連させていきましょう。 ・ 形態機能学の基礎として、大切な学習となります。			

授業科目 情報科学 I	担当講師名 福元 伸也	単位数 1 単位 時間数 15 時間	対象学年 1 年次
学習目標 (ねらい) 1. 情報科学の基礎的な考え方及び情報リテラシーについて理解できる。			
回数	単元	学習内容・方法	
1～4	1. 看護と情報科学	1) 情報とは 2) 情報科学の基礎 3) 情報と認知 4) 看護と情報処理 5) 情報の管理と人権 6) 情報リテラシー 情報の入手、理解、評価、活用 情報のつくり方、守り方、広め方、つながり方	
5～7	2. コンピューターと情報処理	1) コンピューターとは 2) 情報とデータ 3) コンピューターによる情報処理システム 4) コンピューターネットワーク	
8	3. 終講試験		
評価方法		テキスト・参考書等	
実技試験		プリント	
備考 ・看護研究や領域別看護の資料作成に活用していきます。コンピューターの基本的な操作を理解しておきましょう。			

授業科目 情報科学 II	担当講師名 福元 伸也	単位数 1 単位 時間数 30 時間	対象学年 1 年次
学習目標 (ねらい) 1. コンピューター科学と医療分野での情報処理への応用に関する知識を学び、基本的なパソコンの操作技術を習得できる。			
回数	単元	学習内容・方法	
1～3	1. コンピューター科学と医療の応用	1) 看護におけるコンピューターの利用 ・看護師とコンピューター ・コンピューターによる看護情報処理	
4～8	2. 看護とコンピューター	1) 看護と病院情報システム ・医療情報システム ・電子カルテシステム 2) 看護と地域保健医療情報システム ・保健師活動と情報処理 ・地域住民の健康作りへのコンピューターの導入 ・遠隔医療情報システム 3) 看護と情報に関する倫理 ・医療情報をめぐる倫理的諸問題 ・コンピューターと法的義務 ・セキュリティ管理(情報の危険性・ウイルス・不正アクセス対策) 4) 看護と情報の将来 看護におけるマンーマシンインターフェイス	
9～14	3. パソコンによる演習	1) パソコンについて(基本的構造) 2) キーボード入力 3) ワードプロセッサ 4) 表計算ソフト 5) プレゼンテーションソフト 6) 統計解析ソフト 7) インターネットによる情報検索	
15	4. 終講試験及び振り返り	1) 実技試験 2) 学習のまとめ	
評価方法		テキスト・参考書等	
実技試験 課題達成度		プリント	
備考 ・ 医療分野における情報処理について、倫理も踏まえて考えていきましょう。 ・ パソコン入力についての基礎の修得ができるように、練習をしましょう。			

授業科目	担当講師名	単位数 1単位	対象学年
論理学	細谷 章夫	時間数 30時間	1 年次
学習目標 (ねらい)			
1. 事実を正しく解釈・表現する論理的思考を学ぶとともに、論文を書くための文章力を高めることができる。			
回数 (1回90分)	単元	学習内容・方法	
1～14	1. 論理的思考	1) 論理的思考とは何か 思考の原理 考えるはたらき	
	2. 文の七原則	2) ある題材についての意見文を書く。	
	3. 事実の読み方	3) 文章表現のツール、使い方、文章の構成法。	
	4. 主張と理由	1) いつ、何処で、誰が、誰に、何を、どうしたのか	
	5. 論評	1) 題材の文章から客観的に事実を取り出す	
15		1) 題材の文章を、多方面から客観的に分析する 2) 題材の文章を、批判的に検討する。 3) 検討した文章を書き直す。	
		1) 文章の検討で学んだことを反映させ、各自が自分の意見文を検討する。 2) 意見文と科学論文・レポートの基本的相違 3) クリティカルシンキング	
評価方法		テキスト・参考書等	
課題文 (小論文)		プリント	
課題達成度			
備考			
看護を考えるうえで、状況を正確に捉え、論理的に思考できる力は重要である。そのために講義では物事を論理的に思考していくことの基礎知識とその実践を学ぶ。文章を書く際の思考のプロセスを学び、他科目の学習に発展できるようにする。			

授業科目	担当講師名	単位数 1 単位	対象学年
心理学	森藤 悦子	時間数 30 時間	1 年次
学習目標 (ねらい) 1. 科学的な方法で分析・解釈した人間の心理や行動の原理を学ぶことによって、自己理解・他者理解を深めることができる。			
回数 (1回 90 分)	単 元	学 習 内 容・方 法	
1～5	1. 人間の心理を理解するための基礎	1) 心理学とは 2) 感覚・知覚の心理 3) 記憶の心理 4) 感情・動機の心理 5) 性格・知能の心理	
6～11	2. 発達の心理と心理的問題	1) 乳幼児期 2) 児童期 3) 青年期と自己理解 4) 成人期 5) 老年期	
12～14	3. 健康の心理と理解	1) 患者の理解 2) 看護職者の理解 3) カウンセリングと心理療法	
15	3. 終講試験及び振り返り	1) 終講試験 2) 学習のまとめ	
評価方法		テキスト・参考書等	
筆記試験		看護学生のための心理学 医学書院	
備 考			

授業科目 哲学	担当講師名 外菌 幸一	単位数 1 単位 時間数 30 時間	対象学年 1 年次
学習目標 (ねらい) 1. 人間存在と死、及び生き方や生きる価値について理解し、一人一人の人間存在の重要性について深く思考することができる。			
回数 (1回90分)	単元	学習内容・方法	
1～3	1. 哲学とは何か	1) 人類の心の歴史～「哲学の誕生」 2) 現代哲学の諸傾向とその問題点	
4～9	1. 人間とは	1) 人間とは何か 2) 生命とは何か 3) 人間はどう生きるべきか	
10～14	2. 現代に生きる人間と哲学	1) 心と身体 2) 生と死 3) 人間の社会性 4) 現代医療と生命倫理	
15	4. 課題レポート及び振り返り	1) 学習のまとめ	
評価方法		テキスト・参考書等	
筆記試験		プリント	
課題達成度			
備考			

授業科目 英語 I	担当講師名 坂本 育生	単位数 1 単位 時間数 30 時間	対象学年 1 年次
学習目標 (ねらい) 1. 国際社会に対応し得る英語力および英会話の基礎を養い、さまざまな場面で活用していく基礎的能力の習得を目標とする。また、看護、医療英語の基礎にも若干触れる予定である。			
回数	単元	学習内容・方法	
1回	動機付け授業	オリエンテーション、動機付け授業 : 看護師にとっての英語学習の意義について	
2～6回	英語基本練習 : 文型や基本文法の復習 ビデオやCD、DVD教材の併用	1) 英文法の基礎の復習、簡単な英文解釈 2) 簡単な英文解釈と英作文の練習 : VTR・DVD, CDなどの視聴覚教材の併用	
7回	中間テスト	前半の授業内容理解の評価	
8～13回	英語応用練習 : 基礎英文講読(看護、医療、介護関係) 英文講読や会話練習	1) 英作文指導(自己紹介文など) 2) 基本文法把握後の簡単な英文解釈、特に看護、医療、介護関係の簡単な英文講読と会話練習などを中心に行う。	
14	後半の授業の総復習		
15	終講(期末)試験及び授業反省	後半の授業内容理解の評価	
評価方法		テキスト・参考書等	
筆記試験 および授業状況、レポート		プリント教材とビデオ、CD、DVDなどを使用します。辞書としては、電子辞書はカシオのX-Ward、紙の辞書は、旺文社の「英和中辞典」を推薦します。	
備考: 英語力に自信がない人は、今一度中学校の教科書と高等学校使用した、英語 I の教科書を復習することをお勧めします。			

授業科目 英語 II	担当講師名 入江 公啓	単位数 1 単位 時間数 30 時間	対象学年 3年次
学習目標 (ねらい)  1. 看護に必要な専門英語を学ぶことができる。			
回数	単元	学習内容・方法	
1～6	1. 基礎的医学英語	1) オリエンテーション 2) 主要な疾患に関する医学英語 3) 主要な症状に関する医学英語	
7～14	2. 看護に関する英会話	1) 診療場面における英会話 2) 入院生活場面における英会話	
15	3. 終講試験及び振り返り	1) 終講試験 2) 学習のまとめ	
評価方法		テキスト・参考書等	
筆記試験 授業貢献度		やさしい看護英語 成美堂 プリント	
備考			



授業科目 社会学	担当講師名 佐野 正彦	単位数 1単位 時間数 30時間	対象学年 1 年次
学習目標 (ねらい) 1. 社会構造や社会的存在としての人間を理解し、人間に影響を及ぼす社会的要因について理解できる。			
回数	単元	学習内容・方法	
1	1. 社会と人間	1) 「社会学の考え方」の構造 社会学的想像力	
2	2. 社会を構成する基礎的要素	1) 社会的存在としての人間	
3～4	3. 集団と組織	1) 集団の特色 2) 社会構造と集団・組織・ネットワーク	
5～7	4. 家族の機能と構造	1) 家族とは 近代について・自分探し 2) 家族社会の変遷 3) 現代の家族問題	
8～10	5. 地域社会の変容過程	1) 暮らしと 地域社会 2) 地域開発と地域社会変動 3) 地域社会の共同性 4) 社会的評価の視点	
11	6. 職業とは	1) 看護という仕事	
12～13	7. みえるものをよりみえるように すること	1) 現代とは 2) 現代の特徴	
14		1) 社会的行為としての医療行為	
15	8. 医療と社会 9. 終講試験及び振り返り	1) 終講試験 2) 学習のまとめ	
評価方法		テキスト・参考書等	
筆記試験		リアリティの社会学 八千代出版	
備考			

授業科目 教育学	担当講師名 高谷 哲也	単位数 1単位 時間数 30時間	対象学年 1 年次
学習目標（ねらい）			
1. 教育という営みの本質と、人間の成長発達における教育の作用について、基礎的理解を深める。 2. 「教える」―「学ぶ」関係性について、自己の経験と専門的知見の両面から確認する。 3. 教育という営みと看護という営みの共通性や関係性について、実感を伴った整理を行う。			
回数	単元	学習内容・方法	
1	オリエンテーション	教育学で学ぶこと・本授業の進め方の紹介・体験	
2	経験に左右される教育者の理想	自身の被教育経験の振り返りと理想像の確認	
3	子どもの成長を促す要素	映像視聴と学校教育の意義・役割の理解	
4	人間の学習と成長・発達	学習・成長・発達の基礎概念の理解	
5	教育方法の基本原則	ワークショップ：個別学習と集団学習	
6	教えることと学ぶこと	ワークショップ：教育者と学習者の関係の整理	
7	集団の中での成長と社会化	家庭教育の役割と社会化の概念の理解	
8	学習者に働く見えない力	映像視聴と隠れたカリキュラムの特徴の実感	
9	学習形態の特徴と学び合い	映像視聴と学び合いの特徴の理解	
10	学習者の成長可能性への着目	映像視聴と子ども観・指導観・教育観の省察	
11	学習者の想いと教育者の役割	映像視聴と教育者の役割の理解	
12	教育評価の意義と基礎	ワークショップ：相互評価を通じた教育評価理解	
13	成人の学習の特徴	自己主導学習と省察を通じた専門職の成長の理解	
14	学びを左右する学習観	教育と学びを左右する学習観・教育観の理解	
15	まとめと終講試験	学習のまとめと最終確認	
評価方法		テキスト・参考書等	
・演習課題ワークシート ・全15回の記録シート ・論述試験		プリント資料を配付する	
備考			

授業科目 人間関係論 I	担当講師名 大坪 治彦	単位数 1単位 時間数 30時間	対象学年 1 年次
学習目標 (ねらい) 1. 人間関係に関する基礎理論を学び、人間関係を作る基礎的技術を習得できる。			
回数	単元	学習内容・方法	
1	1. 人間存在と人間関係	1) 人間関係基礎理論	
2～3	2. 社会的相互作用と社会的役割	1) 社会的相互作用 学習理論の基礎 アイデンティティ 2) 社会的役割	
4～7	3. コミュニケーション	1) コミュニケーションとは 2) コミュニケーションの実際 バーバルコミュニケーション ノンバーバルコミュニケーション コミュニケーションの障害、歪み、虐待 カウンセリングの傾聴技法	
8～14	4. 人間関係の研究と技法	1) 人間関係に関する研究 社会心理学の知見 リーダーシップ理論 2) カウンセリングとその技法 3) 人間関係のスキルトレーニング	
15	5. 終講試験	事例演習を通して具体的に人間関係の向上へのスキルを身につける	
評価方法		テキスト・参考書等	
筆記試験		人間関係論 医学書院	
備考			

授業科目 人間関係論 II	担当講師名 大坪 治彦	単位数 1 単位 時間数 15 時間	対象学年 2 年次
学習目標 (ねらい) 1. 健康に問題を持つ人や、それを取り巻く人々を対象にした人間関係について学ぶ。			
回数	単 元	学 習 内 容 ・ 方 法	
1	1. 保健医療チームの人間関係	1) 専門職の協力と連携	
2	2. 闘病生活を支える人間関係	1) 患者・家族と保健医療従事者	
3～4	3. 家族の関係	1) 家族関係論と看護ケアの視点 2) 家族看護の進め方	
5～7	4. ターミナルケアにおけるコミュニケーション	1) 死別の準備と人間関係 2) 死別後のケアとしての人間関係	
	5. ソーシャルサポートネットワーク	1) ソーシャルサポートネットワークとは 2) ソーシャルサポートネットワークの活用	
8	6. 終講試験		
評価方法		テキスト・参考書等	
筆記試験		人間関係論 医学書院	
備 考			

授業科目 保健体育 I	担当講師名 高岡 綾子	単位数 1 単位 時間数 30 時間	対象学年 3 年次
学習目標 (ねらい)			
1. 看護師として、自身の健康維持・増進に必要なコアトレーニングやストレッチについて正しく理解し実技を身につける 2. 仲間と共に生涯スポーツとしてのエアロビックを愉しむ 3. 特定の対象者に対する運動療法の理解を深める (妊娠期)			
回数	単元	学習内容・方法	
1 2	1. オリエンテーション 2. 自分の体を知る	1. コミュニケーションシートを作成し提出 2. モニタリングシートを作成することによって、自分の体の癖に気づき、快適に動ける姿勢や生活習慣の改善をはかる。	
3	3. コアトレーニング基礎	3. メソッドを学び、リセットコンディショニング、アクティブコンディショニングの基本を身につける	
4	4. コアトレーニング応用	4. 2で気づいた自身の体に対して、3で学んだことを応用し動きやすい体、快適に動ける体づくりを行う	
5	5. ストレッチング基本	5. 理論を理解し、正しい行い方の基礎を身につける	
6	6. ストレッチング応用	6. 5で学んだことを、様々な場面、症状、対象者などの必要に応じて行えるようにする	
7	7. リズム運動からエアロビックへの導入	7. 音楽を使用して、大人数、またはグループや2人組で動けるようにする	
8	8. エアロビック基本	8. 基本のステップを学び、グループで演技できるように練習する	
9	9. エアロビック発展	9. グループで一連の動きを作品として練習する	
10	10. 発表会	10. 互いの動きを見て評価する	
11	11. 妊娠期における運動療法について 理論編	11. 看護師としてまた自身の問題としてその意義や効果を学ぶ。	
12	12. 妊娠期における運動療法について 実技編	12. 理論をもとに病院等で実際に行われている教室の流れを体験する	
13	13. 妊娠期における運動療法について 理論編②	13. 妊娠期の運動を家庭で家族とともに行うことの意義を学ぶ	
14	14. 妊娠期における運動療法について 実技編②	14. 理論をもとに家庭で家族と行うことのできる実技を体験する	
15	15. 筆記テスト1	15. 授業内容の確認	
評価方法		テキスト・参考書等	
実技試験、筆記試験、授業態度などを総合的に判断して評価する 筆記試験		3年次に購入	
備考			

授業科目 保健体育 II	担当講師名 福満 博隆	単位数 1 単位 時間数 15 時間	対象学年 1 年次
学習目標 (ねらい) 1. 日常生活におけるレクリエーションを学び、看護の場への活用方法を理解できる。			
回数	単元	学習内容・方法	
1	1. レクリエーションの理論と実技	1) 普段何気なくしているレクリエーションの心身に与える影響について学ぶ	
2	2. レクリエーション計画と指導の原則	1) 対象に応じたレクリエーションの企画 2) 健康づくり運動、ゲーム	
3	3. 遊びリテーションの意義	1) グループワークゲーム	
4～6	4. 遊びリテーションの進め方と実際	1) アイスブレイキングの体験1 2) アイスブレイキングの体験2	
7～8	5. ゲーム等の指導実践演習及び終講試験	1) ゲーム・ソングの指導法の実際	
評価方法		テキスト・参考書等	
実技試験		プリント	
備考			